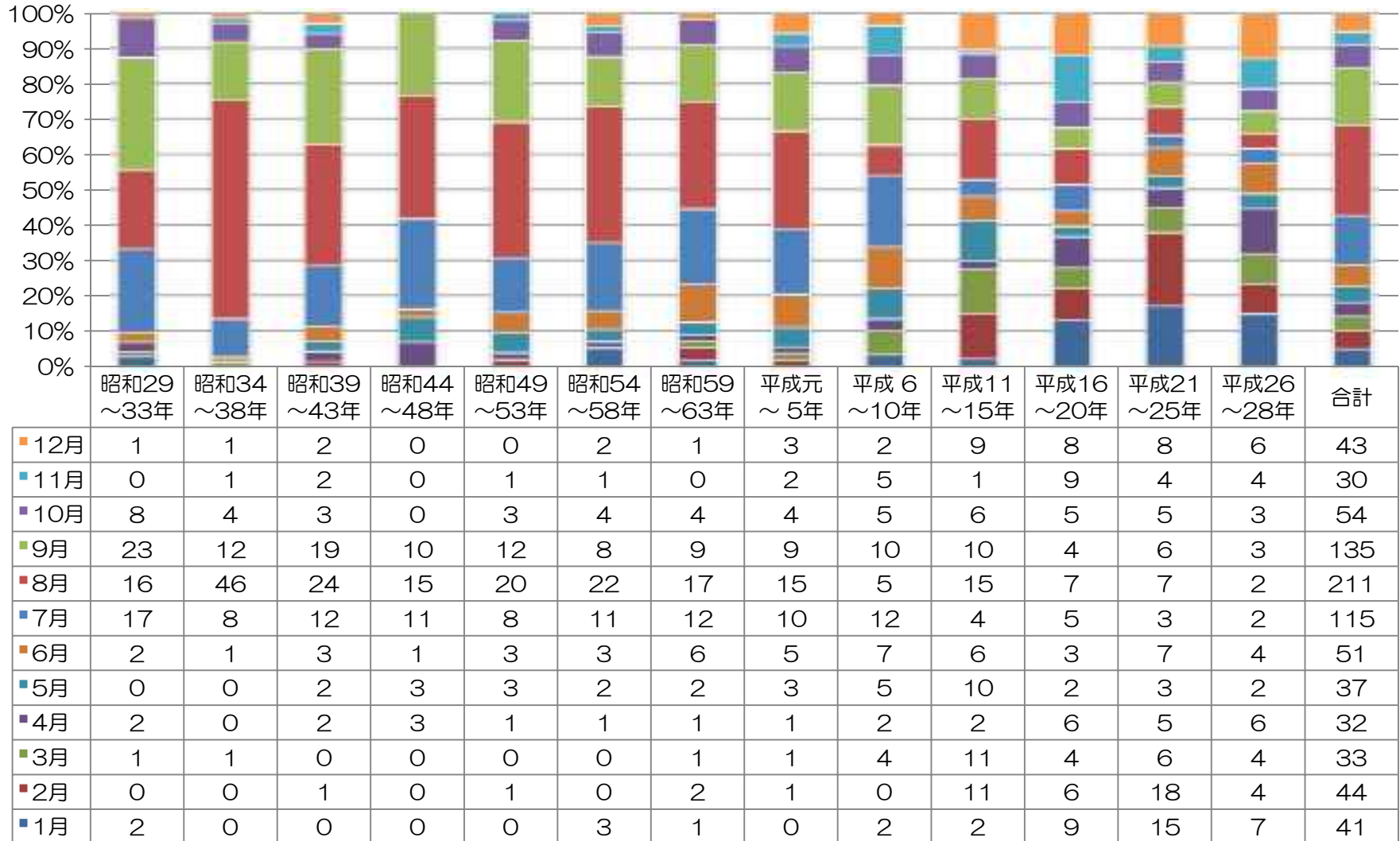


# 5-1. 発生月別 食中毒事件数



食中毒の発生が最も多い月は「8月」の211件（25.5%）であり、「9月」135件（16.3%）と「7月」115件（13.9%）と合わせた夏季の3か月で1年の50%を超えている。この傾向は昭和から平成5年まで頃に顕著であり、その後は1年を通して発生しており、むしろ11月～2月の冬季の発生が増えている。

これらの傾向は、夏季に多い腸炎ピブリオの食中毒が減少し、冬季に多いノロウイルスによる食中毒が増加していることによる影響であると考えられる。